

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月23日

協議会名: 陸前高田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
基石観光(株)	広田線 広田半島線	【前回の評価結果】 令和4年度新規事業のため、 前回事業評価なし。  【評価結果の反映状況】	A 事業が計画に位置 付けられたとおり、 適切に実施され た。	B 広田線 【目標値】4.0人/回【実績値】3.4人/回【達 成率】85% 令和4年4月から経路変更した路線であり、コ ロナの影響に加えて周知の不足が原因と思 われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじ めとした周知に努めるとともに、高校生の登 校について利便性向上を図る。
				C 広田半島線 【目標値】4.0人/回【実績値】1.5人/回【達 成率】37.5% 令和4年4月に、循環路線から直線路線に変 更した路線であり、コロナの影響に加えて、 周知の不足及び沿線の利用人口の減少が 原因と思われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじ めとした周知に努めるとともに、高校生の登 校について利便性向上を図る。
(株)気仙タクシー 高田タクシー(有)	長部今泉線 たかたコミュニティバス西 部線 デマンド交通中平・坂下・ 小黒山エリア デマンド交通気仙エリア ※補助対象事業者が2 週間交替で運行	【前回の評価結果】 令和4年度新規事業のため、 前回事業評価なし。  【評価結果の反映状況】	A 事業が計画に位置 付けられたとおり、 適切に実施され た。	B 長部今泉線 【目標値】2.0人/回【実績値】1.7人/回【達 成率】85% コロナの影響に加えて、沿線の利用人口の 減少が原因と思われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじ めとした周知に努めるとともに、目標達成に 向け、災害公営住宅などにおいてデマンド交 通気仙エリアと一体となったPRを実施する。
				C たかたコミュニティバス西部線 【目標値】2.0人/便【実績値】0.4人/便【達 成率】20% 令和4年4月から循環2路線を統合してできた 路線であるが、コロナの影響や周知の不足 に加えて、経路がやや複雑でとつきにくい ことも要因と考えられる。	本市中心部を運行する路線であり一定の便 数を確保したが、BRTを含め他の交通手段 が存在していることも相まって利用が伸びな かった。経路の重なる路線との統廃合、複雑 な経路の整理、便数の調整を行い、運行の 効率性を高めることとする。
				C デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア 【目標値】2.0人/便【実績値】1.0人/便【達 成率】50% 令和4年4月から、定期運行を廃止してデマ ンドタクシーに移行したものであり、周知の 不足が原因と思われる。	中平・坂下・小黒山エリアに絞ったデマンド交 通のPRを実施し、登録者の掘り起こしと利用 の拡大を図る。
				B デマンド交通気仙エリア 【目標値】2.0人/便【実績値】1.6人/便【達 成率】80% コロナの影響に加えて、沿線の利用人口の 減少が原因と思われる。	目標達成に向け、災害公営住宅などにおい て長部今泉線と一体となったPRを実施する。
(有)高田交通	デマンド交通小友・広田 エリア	【前回の評価結果】 令和4年度新規事業のため、 前回事業評価なし。  【評価結果の反映状況】	A 事業が計画に位置 付けられたとおり、 適切に実施され た。	B デマンド交通小友・広田エリア 【目標値】2.5人/便【実績値】2.0人/便【達 成率】80% 登録者自体は増加しており、コロナの影響に 加えて、周知の不足が原因と思われる。	目標達成に向け、小友・広田エリアに絞った デマンド交通のPRを実施するとともに、出前 講座などを通じて登録者に対する利用の働 きかけに努める。

※枠の大きさの変更は可能です。